

姫路で見る 2022年8月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。



8月15日 21時の空
※月は書いていません

空の高い所、「夏の大三角」がよく目立っています。明るい順に、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブです。ベガは七夕の織姫星、アルタイルは彦星とも呼ばれています。夏の大三角の間には天の川が流れています。空が明るくて天の川が見えづらい場所でも、はくちょう座の十字の星の並びが天の川の向きを教えてください。

天の川をたどって南の空に向かうとさそり座があります。赤く輝く明るいアンタレスとS字に並んだ星の並びが目印です。隣からはいて座がさそりの心臓を狙っています。

東の空には秋の星座が見え始めています。目印はペガサス座の胴体「秋の四辺形」や、その北側にあるWの形に星が並んだカシオペヤ座です。北の空、カシオペヤ座や北斗七星からは北極星を探ることができます。

また、土星が南東の空に見えています。下旬になると木星も見えるようになります。これから秋にかけて、惑星たちが観察の好機を迎えます。